# ごんた坂

第6号

～光陵会同窓会報～

＜発行所＞
神奈川県立光陵高等学校
光陵会

＜印刷所＞
株式会社アーツ
（旧中央出版印刷（株））

▲新しくなった光陵高校のジャージ（記事は５面）

## 光陵会会長挨拶

光陵会会長　太田　秀和

今回も、光陵会のスタッフの努力によって、この会報が皆さんのお手元に届きました。どうぞお楽しみください。

さて、我々２期生は卒業して30余年がたちました。そして今年50歳になります。

今回初めて、同期会を７月20日(海の日)に計画しました。在京の対象者の８割が参加する予定になっています。驚異的な数字です！男・女４人づつの事務局をつくって作業にあたりました。これも楽しいもので、事務打ち合わせより光陵の思い出話に花が咲き、打ち合わせが度度中断させられました。同期会と同窓会、どちらも光陵卒業生の組織ですが、この集まりぐあいに関しては、似て非なるものという感じです。ただ、同窓会は同期会の延長線上にありますが、単なる仲良しクラブではありません。母校、光陵のお役に少しでも立ちたいと願っていますし、卒業生にも役立つ組織で、光陵の歴史を体現できる集まりだと思っています。ただし我々卒業生がまだ若く、この会が本当に機能する面までまだ10年以上かかりそうです。ですから現役の光陵生や卒業生のお役に立てるのはいつになるのか…。

ただ、今できることもあるはずです。少しづつ声があがってきています。いずれにせよ、この光陵会が今後も卒業生のベースキャンプになることは間違いありません。そのための組織運営のトレーニング期間だと思っています。

試行錯誤はこれからも続きますが、「持続は力」を信じて、光陵会の発展を願ってやみません。

## 2000年度光陵会役員

| | | |
|---|---|---|
| 会　長 | 太田　秀和（２期生） | |
| 副会長 | 真野　純一（30期生） | /藤原　直人（31期生） |
| 会　計 | 小俣　千恵（30期生） | /上原　武（25期生） |
| 書　記 | 濱田　直孝（31期生） | |
| 会計監査 | 鳥越　麻理（28期生） | /武井　祐子（29期生） |

# 光陵会総会・同窓会

## 第32回のごあんない　今年は11月11日（日）に開催！

本年度も光陵会総会・同窓会を開催いたします。総会・同窓会の開催地については、会員の皆様から今年も数多くのご意見を頂いておりますが、今年も引き続き横浜での開催してほしいというご希望が多いため、クイーンズスクエア「イエス・プリーズ」にて開催いたします。

なつかしい友人やお世話になった先生方との再会に、またクラスの同窓会の「０次会」として、ぜひご参加ください。

**＊お手数ではございますが，ご都合のほどを同封のはがきにて10月20日までにお知らせください。**

●日時　平成13年11月11日（日）　15時より
●場所　イエス・プリーズ
　（クイーンズスクエア１階）
●同窓会会費　◇「夫婦料金」を新設!!◇
　一般料金……おひとり￥6,000
　夫婦料金……ご夫婦で￥9,000
　学生料金……おひとり￥2,000
　特別会員（現旧教職員）……　無料
※お子様は無料となっておりますので、ご一緒に!!
光陵高校卒に限らず、夫婦でご参加ください。

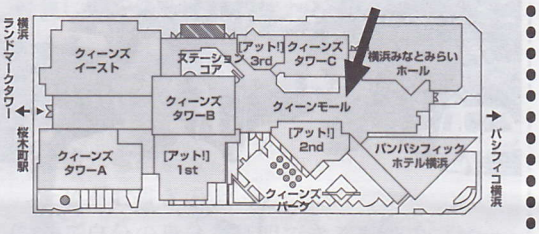
今年の総会は多くの卒業生、特に卒業して30年、25年、20年、10年になる「３期、８期、13期、23期」の皆様にお集まり頂きたく、当時担任をされていた先生を中心にご出席をお願いし、今回多数の先生方にご出席いただける予定です。

久しぶりに恩師と思い出話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか？

［総会にご出席予定の先生方］（８月31日現在，敬称略）
＊先生の右の数字はご担任された期とクラスです。

| | |
|---|---|
| 村瀬　克己 | 3-2／9-1／16-8／26-4 |
| 豊田　敏明 | 3-3 |
| 小沢　敦 | 5-3／8-1／12-4／16-4／20-8 |
| 山下　輝明 | 8-2／15-3 |
| 平瀬　修三 | 8-3／12-2／16-3 |
| 鈴木　彬 | 8-5／12-5／16-2 |
| 長坂　明 | 8-6／12-7／16-7 |
| 佐々木　良 | 8-7 |
| 尾高　堯俊 | 8-8 |
| 山田　孝祐 | 9-2／13-3 |
| 後藤　和浩 | 9-3／13-7 |
| 小木曽悦雄 | 9-7／13-4／18-8 |
| 西川　英雄 | 9-8／13-2 |
| 竹内　博 | 13-5／18-5／21-8 |
| 入沢　洋子 | 18-4／23-4 |
| 椿原　秀樹 | 23-2 |
| 橋本扶美子 | 23-5 |

**＜イエス・プリーズ案内図＞**
クイーンズスクエア１階・クイーンモール




## 光陵会総会 第31回が開催されました 同窓会

平成12年11月20日（土）、桜木町のブリーズベイホテルに於いて、第31回光陵会総会・同窓会が開催されました。毎年１回、11月に開催されるこの会は、クラス・期という枠組みを超えた集まりであり、昨年度は１期生から31期生までの光陵会会員の方々と、長い間光陵高校でご指導下さった先生方にご参加いただきました。参加者は40余名、毎年決まって参加される方々、親しい友人と声を掛け合って参加された方々、「光陵高校」のなつかしい響きに惹かれて一人で参加された方々などさまざまですが、和やかな雰囲気の中、会は進行していきました。

初めに、「光陵会総会」が行われる予定でしたが、今年の光陵会総会は出席者と委任状の合計が決議を可決するための定足数に至らなかったので、会が成立しませんでした。そこで出席者の間で急きょ話合いが行われ、可決ではなく仮決定として、後日あらためて光陵会会員に連絡して正式な決定にすることになりました。太田会長の挨拶の後、議事に移り新旧光陵会役員の紹介および承認、収支決算報告、監査報告、また平成13年度予算案が仮決定されました。次いで賛助金と会員名簿に関する詳細の説明がありました。（その後、会員の皆様への連絡の結果、総会での仮決定事項は正式決定となりました。）

つぎに、初代校長である原田賢三様の乾杯のご発声により「同窓会」が始まりました。光陵生だった頃の話や現在の話などしながら各期が入り交じり交流を深め、途中、豪華商品をかけてビンゴゲームをとおして会は一段と盛り上がりました。

校歌を斉唱した後、名残惜しまれる中、三本締めで幕を閉じました。

# 光陵での20年を振り返って

（元数学科教諭）室谷　昌宏

私が光陵に着任したのは1981年４月で、2001年３月に定年退職するまで20年間在職したことになります。

そこで、私が着任したときから現在に至るまでの20年間の光陵の様子をお話したいと思います。

まず着任して強く印象に残っていることは、４月の生徒総会です。定足数不足で流れることもありましたが、１度開かれると真剣な討論が続き２、３日間もかかることが間々ありました。このような光景は過去私が経験してきた学校ではなかったことでした。現在では予定されたＬＨＲの時間に集合して開会するのに30分ほど掛かり、始まれば20分ほどで予定された議題が終了してしまうような状況になってきています。

また、体育祭において他校では危険が伴うためあまり行われていない棒倒しや騎馬戦が実施されていましたが、その運営が生徒だけの手で行われていたのが強く印象に残っています。現在は教員がグランドに大勢入り騎馬を１騎１騎監視しているような状況です。教室内で印象に残っているのは、授業で最初に持っていた１５期生のクラスで大学の教養課程の教科書を勉強している人がいたり、休み時間に読書している人を多く見受けました。現在では教科書ガイドを利用している人も多く見受けられます。修学旅行での飛行機の利用も時の流れのようです。

校外に目を向けますと、学校の校門の前にあった真盛堂、権太坂小学校の前にあった富士見屋が相次いでなくなり、また校庭の養護学校側の丘の上にあった喫茶店の花門もなくなってしまいました。これはある時期から校門での外出のチェックが強まった影響かもしれません。規則の強化といえば以前は「学音祭」が、建て替える前の関内ホールで行われていた当時は、昼休みの外出が自由で伊勢佐木町方面へ教員も、生徒も食事に出かけたものですが、最近は昼休みの外出は不可で、館内で食事をすますようになっています。

また学校を取り巻く変化としていくつかありますが、第一は高校生の急増期から急減期へと変化していることです。最大は26クラス約1200名在籍していたのが、2000年度は21クラス840名まで減っています。

この間、通学区域も横浜中部学区が西部学区と中部学区の２つに分割され、希望ヶ丘、柏陽と別の学区になり、暫くして第１希望、第２希望制が導入され、さらに昨年度より学区外の扱いも変わってきました。また大学入試共通一次テストが大学入試センター試験と名称が変わってきました。また1991年より月２回の学校５日制の試行が始まり、2002年度より毎週土曜日が休みとなる完全週５日制が実施されようとしています。この間社会報道のとおり入学式、卒業式において日の丸、君が代が掲揚、斉唱されるようになりました。

このように在職している間は１年から３年までの生徒を見ているとあまり変わりがなく見えますが、長期的に振り返ってみると大変変化している様子がみられ、社会の動いている様子が実感されます。

あっという間に時は流れ過ぎましたが、光陵での20年は個性豊かな沢山のすばらしい生徒と出会えたことを大変光栄に思っています。卒業生からもらう元気な近況を知らせる便りは、なににもまして私の財産です。まるで彼らを自分の手で育てたような誇らしい気持ちは、他の仕事では味わえないものとみなさんに感謝する気持ちでいっぱいです。

終わりに光陵で育った同窓のみなさんのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

## Tokyo 55 New Department Store

Tokyo55は光陵の31期・卒業生によって結成された劇団です。

●この劇団名の由来は、55年生まれの俺たちが東京で活躍するぞ、そして常に新しいアイデアをデパートのように豊富に取り揃え、少しずつ出していこうという思いからできた。

●「ばかっちょおもろカラダハッスル涙ぽろぽろ」、これがTokyo55の目指しているものである。ふりまく「ばかさ」を「かっこよく」見せる。さりげない日常のひとコマでの笑い。心がワクワクし、カラダはハッスルする。役者もあなたも。私たちの動きを見てあなたの心も自然とリズムをとる、そんな感じである。

●そして、これを通して様々なことに悩みがちな年頃のひとに何かを得てもらいたい。年を経て新たな悩みを持つに至った年頃のひとに、青春時代を思い出してもらいたい。
見た後に、心の何処かから湧き上がる何かを感じてもらう。
これが私たちの願いである。

**★Tokyo55の公演は…**

前回、前々回に共通していることは、スピード感と巧みなセリフ使い！
これらを前面に出すことによって皆さんにカタルシス（浄化作用）を感じてもらう！そして衣装・写真・舞台で美術館の様に演出し、その中で役者によってみんなに新しい思考回路を開いていく！

★見に来る皆さんに一言…

私達が公演で一番言いたい事は、自分の心の中にある本当の気持ちを少しでも出して欲しい、こんなことです。そう簡単に言えることではないですけど。
まあ、肩ひじ張らずに見に来て欲しいと思います。芝居を見たことない方も、気楽に足をお運びください。芝居の前には光陵の関係者も多く来られるはず。仲間を誘って行ったなら、その日はもはや同窓会!!

**☆お問い合わせ～Home Page address**

Tokyo55インターネット支店現在ますます発展中!!皆様掲示板に書きこんでいってください。

http://www27.freeweb.ne.jp/art/tokyo55

（Tokyo5特製プレゼントあり。サイトをチェック!）

（店長　長田 直記
店員　阿讃坊 明孝、石井 大基、藤原 直人）

# 経済学のすすめ

（6期4組）橋本　和彦

編集スタッフから、突然、執筆依頼のメールが届き、戸惑ったというのが正直な感想である。なんでも、「学生にアピールすること」がテーマなのだそうである。なぜ私に白羽の矢がたったのであろうか。あれこれ考えたあげく、ようやく思い当たった。私が某私大に10年余りも授業料を納め、その後も、公務員試験受験予備校や、あちこちの大学で、大学生を相手に知識の切り売りをしているのを、誰かが知っていたのだ。学生や教員の生態を少しは知っていると思われたのであろう。

私が学び教える経済学部は、希望に燃えて入学しながら、勉学に挫折する学生の割合が、他学部に比べて非常に高い。私見では、経済学のイロハのイを理解して卒業する学生は、多く見積もっても3割である。その理由の一つは、多くの学生が経済学部を文科系と誤解して入ってくる点にある。経済学は、はっきり言って理科系に近い。20世紀の経済学に至っては、物理学をモデルとしている。「数学が苦手だから、経済を志望しました」というのは的はずれなのである。もっとも、私もかつて勘違いして入学した学生の一人であり、理論はあきらめて、経済史を専攻したのだから、偉そうなことは言えない。

私自身の専攻からすると、「計量経済史」の一部にみられるようなモデルには、かなり批判的にならざるを得ないが、経済を理解する上では、数学は有用な道具となる。紙面の関係上、あまり複雑な式を扱うことはできないので、マクロ経済学の「貯蓄・投資バランス分析」で、数式モデルを用いる経済分析の初歩を紹介しよう。

$Yd = C + I + G + X - M$・・・総需要（GDE）①
$Ys = C + S + T$　　・・・総供給（GDP）②
（Yd：総需要、Yd：総供給、C：消費、I：投資、G：政府支出、X：輸出、M：輸入、S：貯蓄、T：租税）

①式は、国内で生産された粗付加価値は、需要面で見ると、家計に消費財（C）として、企業から生産財（I）として、政府部門により消費財と生産財の合計（G）として、外国から生産財や消費財（X）として、需要されるが、外国からの輸入（M）をそこから控除しなければならないことを意味する。粗付加価値を生産（そして供給）した人々は、その関与に応じて分配された貨幣所得から租税を控除した可処分所得（Ys－T）を、適当と思われる割合に基づいて、消費と貯蓄（C＋S）にまわすことを、②式が示している。

このとき、均衡（需要と供給の一致、Yd＝Ys）が成立すれば、

$$C + I + G + X - M = C + S + T$$
$$(X - M) = (S - I) + (T - G) \quad ③$$

となる。③式は、経常収支（X－M）が、国内民間部門の貯蓄・投資の収支（S－I）と、政府部門の財政収支（T－G）の合計に等しいことを示している。

周知のように、アメリカは貿易収支の赤字に悩み、日本は貿易収支の黒字を非難されているが、「SIバランス分析」では次のように説明される。アメリカでは、98年に財政収支が黒字に転換したから、経常収支の赤字の原因は、貯蓄が少なすぎるところにあることがわかる。③式で示せば、次のようになるからである。

（マイナス）＝（S＜I）＋（プラス）

日本の場合、財政収支が赤字なのに経常収支が黒字なのは、貯蓄が過剰で、内需が不足しているところにあるとされる。

（プラス）＝（S＞I）＋（マイナス）

現時点では、内需拡大とは輸入を増大させるというよりも、Cを増やしてSを減らし、Iを増加させることであり、Gを増大させるというよりも、Tを減少させることであろう。

これらを言葉で説明するのには、この数倍の紙面が必要である。このように数式モデルを用いると、記述的思考ではわからないことが鮮明に見えてくるのである。上に見たように、数式の操作は決して難しいものばかりではない。若いみなさんが果敢に挑戦されることを希望する。

## 光陵会でホームページを立ち上げました

従来、光陵会では年1回会員の皆様に同窓会報を発行してまいりましたが、我々もIT革命（？）に乗り遅れること数年、公式ホームページを立ち上げることにしました。

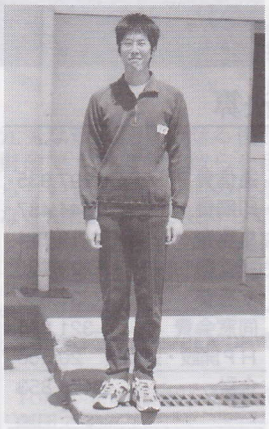
これまで同窓会報にて掲載してきた光陵高校の近況をよりタイムリーに掲載し、加えて会員の方々の情報や運営に当たっている幹事の紹介なども掲載する予定です。

随時より良い形にしていきたいと思っておりますので、どうぞご期待ください。

**光陵会ホームページURL：http://www.koryokai.org**

# 特集
# ジャージが変わりました！

皆様ご存知でしょうか。最近の卒業生の方なら知っていると思いますが、光陵高校のスクールジャージが34期生から大きく変わりました。
この、伝統を覆す大事件(？)を総力をあげて取材しました。
古いジャージがなくなったと聞いて、懐かしさや悲しみを感じている方もいらっしゃるかと思いますが、これに関していろいろな方にインタビューを行いましたので、その一部を33期の２人の対談形式で紹介します。



## 新しいジャージのここがポイント！

Ｓ：この新しいジャージを見て、なにか気付いたことある？
Ｔ：あ、うちらのジャージにはあった上着のチャックがない！
Ｓ：これね。チャックがあると壊れやすいからしいよ。
だから新しいジャージには三角形の切れ込みが入っているんだ。
Ｔ：ふーん。あれ、ズボンのすそのチャックは？
Ｓ：これは後ろに付いてるんだ。ほら、外側にあると柔道の受け身で、内側だとサッカーのインサイドキックのときに足が痛いでしょ。
Ｔ：そっか。あと、他に全体的に光陵らしいところは？
Ｓ：分かりづらいんだけど学年色が入ってる。緑・青・黄色。あと、校章も入ってるんだ。
Ｔ：ホントだ。校章は分かった。でもたぶん会報に載せるときって、写真白黒だから学年色は分かんないんじゃないの？
Ｓ：ごもっとも…。
Ｔ：このジャージ、全体の色は青だけど、どうしてなの？
Ｓ：それはズバリ光陵のスクールカラーが青だからです！
Ｔ：えっ、光陵のスクールカラーって青だったんだ。さすがに僕は知らなかったなー。知ってた人なんているのかなー？知ってた人はかなりの光陵フリークだね。
Ｓ：たしかに。僕も知らなかったもん。

## どうしてジャージを変えることになったの？

Ｔ：っていうか、なんでジャージ変えたの？
Ｓ：まず１つ目の理由は時代の問題。ブルマとか短パンって時代遅れだし、ジャージの型も変わったからね。
Ｔ：たしかにブルマや短パンって見た目も良くないよね。２つ目は？
Ｓ：２つ目は生地の問題。旧ジャージの生地を使っているのが光陵だけだったからしいよ。つまり特注ってこと。
Ｔ：え、特注だったの？じゃあレア物？もう買えないじゃん。プレミア付くかもしれない…。
Ｓ：さすがにスクールジャージにプレミアは付かないだろうけどね。３つ目はジャージの質の問題。最近のジャージは機能性が上がっていて運動しやすくなっていて、だらしなく着づらいようにもなってるんだって。
Ｔ：あー、旧ジャージの運動のしにくさといったら言葉にできないもんね。あの体への吸着感、何ともいえない吸水性のよさ、そして通気性の悪さ。
Ｓ：言葉になってんじゃん。まあとにかくこれらの理由から、長い年月をかけてジャージを変えていきました。また、高原先生をはじめとしてたくさんの先生方のご尽力があったそうです。
Ｔ：高原先生か、うちらには懐かしいね。

## みなさんの感想は？

Ｓ：あと、いろんな人にジャージが変わった感想を聞いてみました。
・変えてほしくなかった。（卒業生）
・けっこう便利だったのに。パジャマにしたり…。（卒業生）
・個人的には旧ジャージの方が好きでした。（先生）
・時代の流れかなぁ。（先生）
・先生になって光陵に戻ってきたときに、とにかく一番驚いたことが、ジャージが変わっていないことでした(笑)。（光陵卒の先生）

最後に、この取材をするにあたって、たくさんの方々のご協力を得ました。インタビューに答えてくださった体育科の先生をはじめ、新ジャージの写真撮影に協力してくれた生徒の皆さん、感想を述べてくれた卒業生や先生方、本当にありがとうございました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。

# 光陵会会計報告

## 1999年度決算

| 〔収入の部〕 | | 〔支出の部〕 | |
|---|---|---|---|
| 入会費 | 1,494,790 | 通信費 | 997,935 |
| 終身会費 | 1,494,790 | 印刷費 | 544,487 |
| 同窓会会費 | 346,000 | 事務費 | 19,714 |
| 名簿代 | 12,220 | 運営費 | 221,722 |
| 雑収入 | 3,340 | 交通費 | 31,600 |
| 賛助金 | 662,210 | 同窓会費 | 321,395 |
| ＨＰ開設寄付金 | 20,000 | ＨＰ開設・運用費 | 20,000 |
| 前年度繰越金 | 6,840,427 | 合計 | 2,156,853 |
| 合計 | 10,873,777 | | |

収支差引金額　8,716,924

## 2000年度予算

| 〔収入の部〕 | | 〔支出の部〕 | |
|---|---|---|---|
| 入会費 | 1,450,000 | 通信費 | 1,200,000 |
| 終身会費 | 1,450,000 | 印刷費 | 600,000 |
| 同窓会会費 | 400,000 | 事務費 | 20,000 |
| 名簿代 | 8,000 | 運営費 | 250,000 |
| 雑収入 | 3,500 | 交通費 | 35,000 |
| 賛助金 | 500,000 | 同窓会費 | 350,000 |
| 前年度繰越金 | 8,716,924 | ＨＰ運用費 | 11,760 |
| 合計 | 12,528,424 | 合計 | 2,466,760 |

収支差引金額　10,061,664

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。以下のとおり皆様の温かいお心遣いをいただきましたことを深く感謝いたしますとともに，ここにご報告します。
今後も引き続き，ご支援ご協力をお願いいたします。

## 光陵会賛助金芳名簿

＊敬称略／平成13年8月31日現在

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 佐藤文哉 | (旧職員) | 歌川和也 | (6-5) | 岩間徹 | (10-4) | 米田まり | (13-8) | 松本安生 | (18-3) | 河岸孝昌 | (25-1) |
| 新村敏郎 | (旧職員) | 田沼光明 | (7-1) | 高藤忠明 | (10-6) | 笠原正 | (14-3) | 江原宏幸 | (18-7) | 泉直子 | (25-2) |
| 池谷透 | (1-1) | 関口順子 | (7-2) | 植木郁 | (11-2) | 鈴木馨 | (14-6) | 澤田かおる | (18-7) | 鈴木篤史 | (25-2) |
| 林純哉 | (2-1) | 高橋渉 | (7-2) | 舟木淳子 | (11-2) | 本田直子 | (14-7) | 福岡彰道 | (19-3) | 外口公大 | (26-1) |
| 外口ミハル | (2-2) | 遠藤桂子 | (7-3) | 小柳充子 | (11-8) | 泉名ゆかり | (15-1) | 山本佳宏 | (19-4) | 津野幸太 | (26-3) |
| 宮崎和哉 | (2-2) | 金子淳人 | (7-4) | 平松佳代 | (12-1) | 安嶋裕美 | (15-2) | 加藤啓輔 | (19-5) | 加藤智彦 | (28-1) |
| 井田幸枝 | (3-2) | 大和田充 | (7-5) | 前田大 | (12-1) | 木塚朝博 | (15-2) | 西海望 | (19-8) | 熊澤努 | (29-1) |
| 小滝真一 | (3-3) | 原隆一 | (7-7) | 森浩 | (12-1) | 伊藤永子 | (15-9) | 山廼邉綾子 | (20-3) | 内本修生 | (29-6) |
| 石原修 | (4-2) | 小暮あづさ | (8-2) | 都築明子 | (12-2) | 窪野徹 | (16-2) | 中野敬子 | (20-5) | 木原雅子 | (30-2) |
| 古藤田謙治 | (5-1) | 佐俣卓生 | (8-3) | 佐藤貴史 | (12-4) | 古市弘 | (16-2) | 北濃健司 | (20-6) | 真野純一 | (30-5) |
| 小濱雅子 | (5-1) | 飯塚唯史 | (8-6) | 土田秀樹 | (12-4) | 井上英理佳 | (16-3) | 重成基 | (21-3) | 皆川篤 | (32-3) |
| 鳥山直温 | (5-1) | 伊東政明 | (8-6) | 藤山聡子 | (12-4) | 高野篤子 | (16-4) | 鈴木博朗 | (22-4) | 渡辺宗生 | (32-7) |
| 中野由紀子 | (5-1) | 諸星隆大 | (8-6) | 稲葉将陽 | (12-7) | 廣瀬直哉 | (16-4) | 野地かおり | (22-7) | (匿名) | (？) |
| 滝沢信子 | (5-2) | 南尚美 | (9-1) | 山本明 | (12-7) | 秋元晴江 | (17-2) | 中村文俊 | (22-8) | | |
| 赤澤達幸 | (6-3) | 山本倫子 | (9-3) | 田井公一 | (13-3) | 高橋雄一 | (17-3) | 山本敬子 | (24-1) | | |
| 清瀬洋平 | (6-3) | 出口明彦 | (9-7) | 泉長彦 | (13-4) | 渡辺薫 | (17-5) | 大部一俊 | (24-4) | | |
| 大濱信宏 | (6-4) | 萩田敦司 | (9-7) | 加藤玲子 | (13-8) | 日高誠 | (17-6) | 森下由朗 | (24-5) | 計103名 | |
| 笹倉紀子 | (6-4) | 椎名潔 | (10-1) | 屋代通子 | (13-8) | 佐川琢円 | (17-8) | 大久保弘延 | (25-1) | | 362,000円 |

# 進路状況

今年も光陵生は頑張りました!!

〈国立・公立大学〉

| 学校名 | 総数 | 現役 |
|---|---|---|
| 大阪 | 1 | 0 |
| 埼玉 | 2 | 2 |
| 静岡 | 2 | 1 |
| 千葉 | 5 | 2 |
| 筑波 | 1 | 1 |
| 東京 | 4 | 1 |
| 東京学芸 | 4 | 2 |
| 東京工業 | 9 | 4 |
| 東京農工 | 2 | 0 |
| 一橋 | 1 | 1 |
| 北海道 | 2 | 0 |
| 横浜国立 | 15 | 7 |
| 東京都立 | 4 | 2 |
| 横浜市立 | 9 | 7 |

〈私立大学〉

| 学校名 | 総数 | 現役 |
|---|---|---|
| 青山学院 | 27 | 19 |
| 学習院 | 10 | 6 |
| 神奈川 | 41 | 24 |
| 慶應義塾 | 42 | 25 |
| 上智 | 21 | 9 |
| 中央 | 45 | 24 |
| 東海 | 11 | 8 |
| 東京女子 | 9 | 1 |

| 学校名 | 総数 | 現役 |
|---|---|---|
| 東京理科 | 65 | 23 |
| 日本 | 35 | 14 |
| 日本女子 | 9 | 5 |
| 法政 | 30 | 11 |
| 明治 | 65 | 22 |
| 明治学院 | 34 | 25 |
| 立教 | 21 | 12 |
| 早稲田 | 53 | 17 |

# 部活実績

（平成12年10月～平成13年6月）

| | |
|---|---|
| サッカー | 高校総体県予選<br>対神奈川総合高校　4対0<br>7月対元石川高校　3対0 |
| ハンドボール（男子） | 室内戦　県ベスト16 |
| ハンドボール（女子） | 新人県大会　対厚木北高校　19対1 |
| テニス（男子） | 関東大会県予選<br>個人　大城　本戦出場<br>団体　大城・鈴木　本戦出場 |
| テニス（女子） | 高校総体県予選団体　1回戦出場 |
| ソフトテニス（男子） | 関東大会県予選会　藤村・中尾　ベスト4<br>野村・石井　ベスト8<br>国体予選　野村・石井出場 |
| ソフトテニス（女子） | 関東大会県予選会　二宮・一徳　予選6位<br>全日団体県予選2回戦<br>対川崎南高校　2対0 |
| バレーボール（男子） | 秋季大会地区予選ブロック　3位 |
| バレーボール（女子） | 高校総体県予選会　1回戦出場 |
| バドミントン（男子） | 横浜地区冬季大会<br>山本　ブロック準優勝<br>水口・北見　ブロック優勝<br>吉田・吉原　ブロック準優勝 |
| バドミントン（女子） | 関東大会県予選会　団体8位 |
| バスケットボール（男子） | 高校総体県予選　2回戦出場 |
| バスケットボール（女子） | 関東大会県予選会　3回戦出場<br>高校総体県予選(中地区)　2回戦出場 |
| 水泳（男子） | 地区大会　総合5位<br>碓井50m自由形 7位／100m自由形7位<br>佐藤200m個人メドレー　7位<br>狩野50m背泳ぎ2位／100m背泳ぎ 5位 |
| 水泳（女子） | 関東大会本体会　山口800m自由形　5位<br>高校総体本大会　山口800m自由形　15位<br>県大会　山口400m自由形　1位<br>200m自由形　5位 |
| ダンス | 6月神奈川県高等学校<br>ダンスコンクール出場 |
| 剣道（男子） | 高校総体県予選　2回戦出場<br>関東・全国予選大会個人戦男子 ベスト32 |
| 剣道（女子） | 新人県大会　ベスト16<br>関東大会県予選会　ベスト16<br>高校総体県予選　ベスト16<br>関東・全国予選大会個人戦女子　4回戦 |
| 卓球 | 高校総体県予選　1回戦出場 |

| | |
|---|---|
| 陸上競技（男子） | 横浜地区大会　4×400mリレー　4位<br>横浜市民大会<br>1500m10位／4×400mリレー　4位<br>関東大会県予選会 ロングジャンプ 7位<br>県陸上競技大会地区予選<br>ロングジャンプ1位／200m16位／400m16位／5000m 5位・11位／100mハードル9位 |
| 陸上競技（女子） | 横浜地区大会　100m 8位／200m 6位<br>横浜市陸上競技選手権大会<br>4×100mリレー　7位<br>横浜市民大会<br>100m 6位／ロングジャンプ4位<br>関東大会県予選会<br>100m準決勝7位／ロングジャンプ7位／4×100mリレー6位<br>関東大会本大会<br>4×100mリレー予選　6位<br>県陸上競技大会地区予選<br>100m 4位・5位／4×100mリレー3位 |
| 体操 | 地区大会　鈴木　8位　岸野　15位<br>新人県大会　鈴木　24位　岸野　48位<br>関東大会県予選会<br>鈴木　19位　岸野　26位 |
| 野球 | 野球　春季大会地区予選　2勝1敗<br>県大会出場 |
| 囲碁（男子） | 県大会団体戦　ベスト8<br>秋季県大会個人戦　ベスト8<br>春季大会個人戦　ベスト8 |
| 囲碁（女子） | 県大会団体戦　優勝<br>関東大会団体戦　ベスト4 |
| 吹奏楽 | アンサンブルコンテスト横浜大会<br>木管五重奏　銀賞<br>サクソフォン四重奏　銅賞<br>金管四重奏　銅賞 |
| 家庭科同好会 | 9月　光陵祭参加 |
| 合唱部 | 10月　県高等学校総合文化祭<br>高文連ソロコンサート予選出場 |
| 文芸部 | 11月　神奈川県文芸コンクール<br>高文連会長賞受賞 |
| 美術部 | 2月　神奈川県美術展参加 |
| 科学部 | 9月　富士見丘中・高等学校交流会<br>10月　保土ヶ谷区民祭り<br>こども化学教室参加 |

# 平成13年度異動

【転出】

校　長　村山　福喜（3年）　退職
数　学　室谷　昌宏（20年）　退職
国　語　吉田　秀樹（12年）　和泉高校へ
化　学　善方　徹（11年）　上矢部高校へ
数　学　大嶋　啓子（12年）　相武台高校(教頭)へ
理　科　柴坂　宏行（5年）　教育センターへ
数　学　栗林　利昭（3年）　県教育庁高校教育課へ

＊（ ）内の年数は、本校在職年数を示します。

【転入】

校　長　石渡　哲男　岡津高校から
数　学　黒田　弘　大和南高校から
国　語　外谷　武美　汲沢高校から
化　学　坂蒔　正　寒川高校から
数　学　津田　秀彦　藤沢北高校から
物　理　磯貝　和宏　鎌倉養護学校から
数　学　上森　公二　舞岡高校から
国　語　今井　弘一　舞岡高校から
社　会　大濱　信宏　保土ヶ谷県税事務所から

## ≪賛助金のご協力をお願いします≫

一昨年より賛助金のご協力をお願いしています。今年8月31日までに総計371,000円もの賛助金を頂き、役員一同、皆様のご理解とご協力に感謝しております。このことにつきましては疑問であるとの貴重な意見も多く頂きましたが、長期的にみますと依然、光陵会運営資金の逼迫の危機が迫っている状況にあるため、今年度も引き続き次のとおり、賛助金として会員の皆様から募ることにいたしました。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1、金　額

　1口　　1,000円

　何口でもかまいません。

2、お支払い方法

　① 郵便振込み

　　次の口座にお振込みください。

　　口座番号：00220－5－0021817

　　加入者名：光陵会

　② 銀行振込み

　　次の口座にお振込みください。

　　横浜銀行緑園都市支店

　　口座番号：367－1187951

　　名 義 人：光陵会

## ≪寄稿のお願い≫

光陵会では、会員の皆様が楽しんでいただけるような会報「ごんた坂」を目指しております。とはいいましても、創刊からまだ第6号。どんな記事を書けばよいものか、役員皆頭をかかえております。

そこで皆様にお願いです！**会報記事の寄稿へご協力ください！**「私は今、こんなすごいことをしています」とか「光陵のOB·OGでこんな活動をしているよ」など、どんなことでも結構です！寄稿と言う形ではなくても「いついつに○○を開きます」などの情報でもOK！お気軽に下記「光陵会」までご一報ください。

**光陵会では、会員の皆様の活動を応援します！**

**宛　先：〒240－0026**

**横浜市保土ヶ谷区権太坂1－7－1**

**神奈川県立光陵高校内「光陵会」**

## ≪'98光陵会会員名簿のご案内≫

98 年度光陵会会員名簿の購入を希望される方は、次の方法で光陵会までお知らせください。ご案内と振込用紙をお送りいたします。

光陵会名簿頒布価格：1部　¥4,000－（送料込）

**申込方法**

封書にて、購入を希望される方の

①氏名

②在籍「期」

③住所

④連絡先電話番号

　を必ずお書きの上、

⑤「ご自分の身分を証明できるもののコピー」

　を同封の上、郵送にてお申し込みください。

**申込先：〒240-0026**

**横浜市保土ヶ谷区権太坂1－7－1**

**神奈川県立光陵高校内「光陵会」行**

※　誠に勝手ではございますが、名簿のご購入は、お一人様1部とさせていただきます。

**昨今、名簿を利用した勧誘などの業者が多く存在し、問題になっています。名簿の使用は個人の範囲に限り、他人への譲渡、売買することのないようお願い申し上げます。**

## ・あ・と・が・き・

第六号を迎える光陵会会報はいかがだったでしょうか？今回は1期から33期まで，いろいろな世代の光陵会会員の方々が楽しめる内容にする事を目標に仕上げてみました。32回光陵会・同窓会も楽しめる内容にする予定ですので学生の皆様も、友達同士で声を掛け合い是非参加してみて下さい。

会報や光陵会の活動に関するご意見ご感想等ございましたら、「光陵会」までお寄せください。どうぞよろしくお願いします。

会報の発行にあたり、多くの方々のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。会員の皆様のご多幸をお祈りしつつ、あとがきに代えさせていただきます。